

主伐による森林循環の加速化と 持続可能な森づくりを目指して

令和8年度版 「富山県森林・林業白書」



森林ボランティアによる植樹活動



タワーヤードによる架線集材



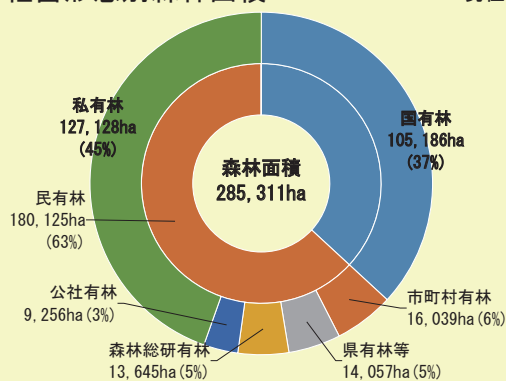
富山伐木チャンピオンシップ 2025

目次

- ◆ 富山県の森林・林業の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ◆ 富山県森林・林業振興計画の概要・・・・・・・・・・・・3
- ◆ 令和7年度 森林及び林業の施策・・・・・・・・・・・・5
 - ・ 基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化・・・・・・・・5
 - ・ 基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成・・・・12
 - ・ 基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり・・・・15
- ◆ 振興計画の目標指標と令和7年度実績・・・・・・・・・・19
- ◆ 令和7年度の主な出来事・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

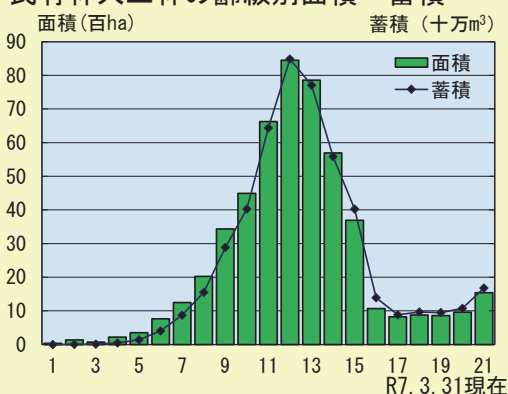
富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積 R7. 3. 31現在



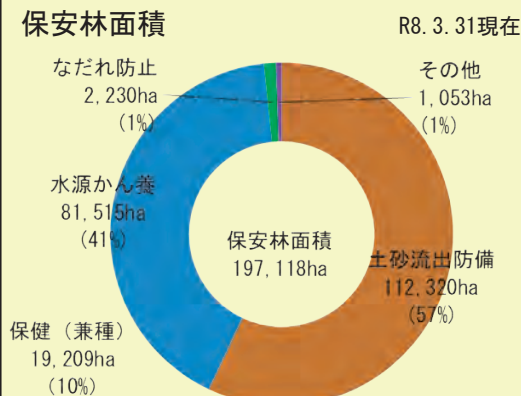
本県の森林面積は約285千haで、総土地面積425千haの67%を占めています。森林率は全国とほぼ同じ水準です。

民有林人工林の齢級別面積・蓄積

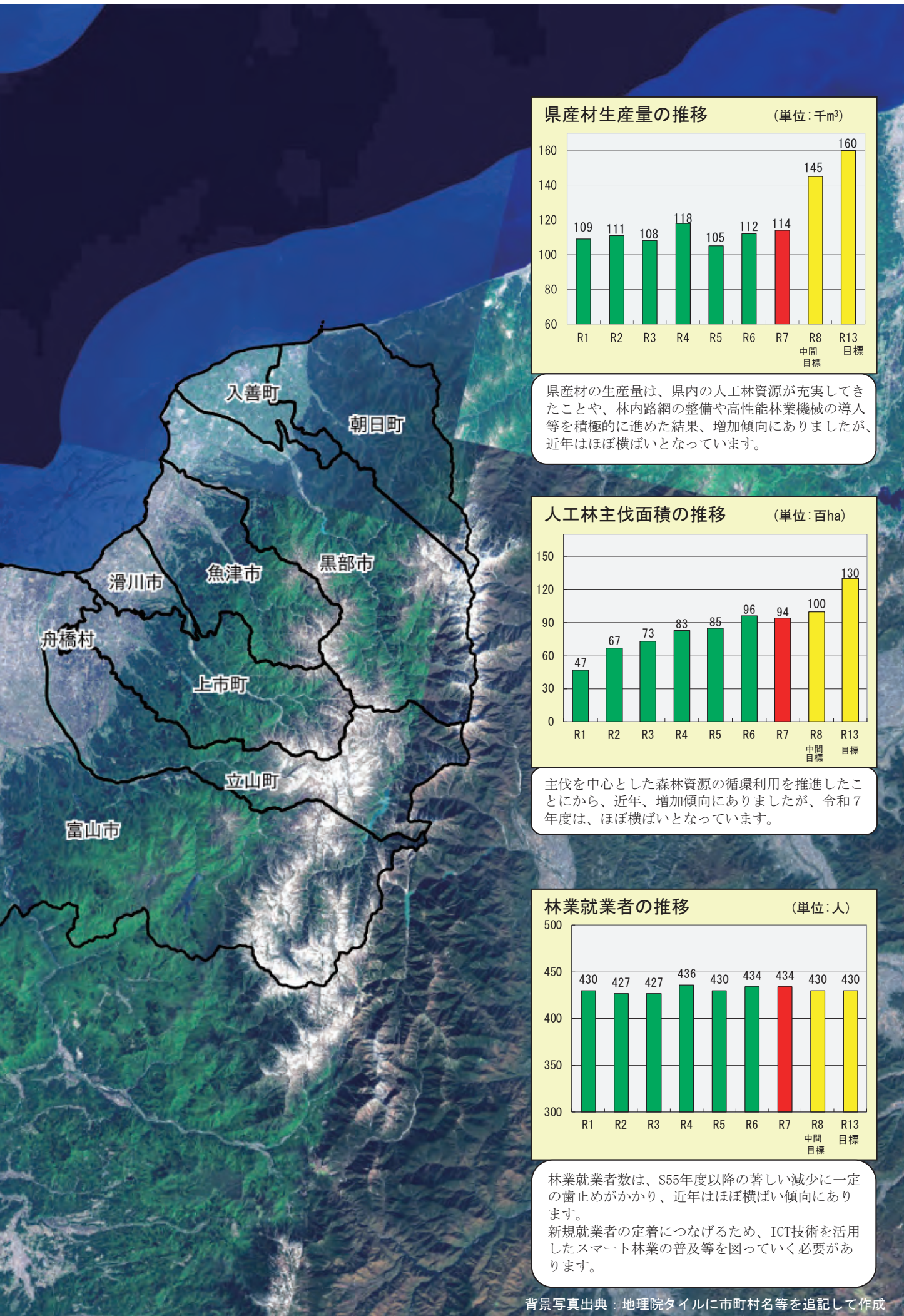


県内の人工林は、木材として利用可能な9齢級以上の森林が、面積、蓄積共に全体の約9割を占めています。

保安林面積

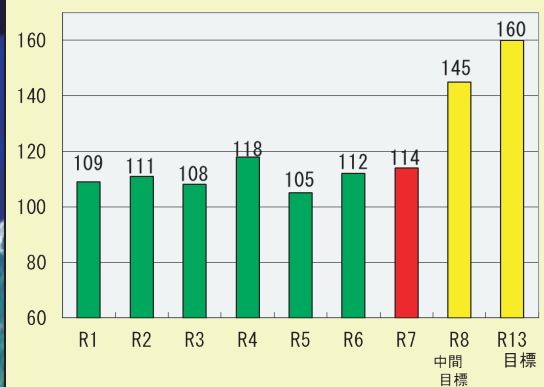


森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を、その目的に応じ保安林に指定しています。保安林率は69%で、全国の都道府県で最も高くなっています。



県産材生産量の推移

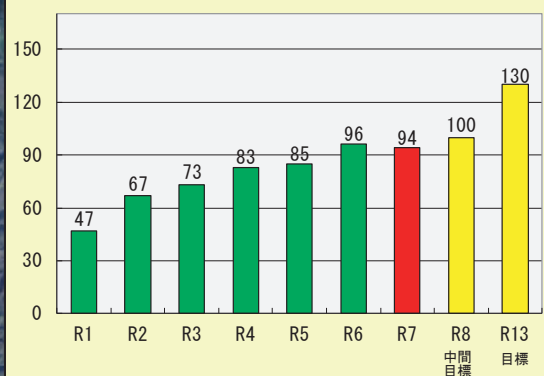
(単位: 千m³)



県産材の生産量は、県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めた結果、増加傾向にありましたが、近年はほぼ横ばいとなっています。

人工林主伐面積の推移

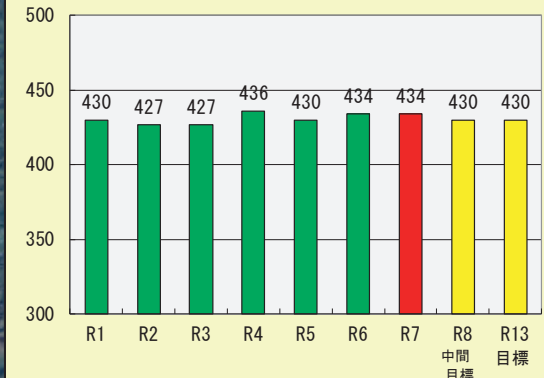
(単位: 百ha)



主伐を中心とした森林資源の循環利用を推進したことにより、近年、増加傾向にありましたが、令和7年度は、ほぼ横ばいとなっています。

林業就業者の推移

(単位: 人)



林業就業者数は、S55年度以降の著しい減少に一定の歯止めがかかり、近年はほぼ横ばい傾向にあります。新規就業者の定着につなげるため、ICT技術を活用したスマート林業の普及等を図っていく必要があります。

背景写真出典：地理院タイルに市町村名等を追記して作成

富山県森林・林業振興計画の概要 ～主伐による森林循環の

1 森林・林業・木材産業の目指す姿



『主伐による森林循環の加速化と持続可能な森づ』

富山の豊かな森を守り育て、林業・木材産業の成長産業化を一層推進
花粉症対策への貢献と県民のウェルビーイング向上を目指す

2 目標の実現に向けた推進施策

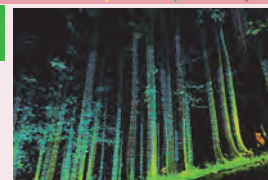
基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化

経済的な
ゆとり
安心・
心の余裕
生きがい・
希望

1 素材生産力の強化



- 地上レーザやドローンによる効率的な立木調査★1
- スギ人工林の伐採と無花粉スギや広葉樹の植栽による花粉発生源対策
- 線形や土場の設置など木材の大量輸送に対応した林道の開設★1
- 生育期間が短く大量生産が可能な挿し木による無花粉スギの増産体制の確立
- 地震で被災した林道等の復旧と大規模災害を見据えた維持管理体制の構築★4
- ドローンによる運搬や通信環境の整備など先端技術を活用した作業省力化★1
- 路網開設が困難な急傾斜地での架線集材など新たな作業システムの推進★1
- 丸太の自動計測や配車システムの導入などによる木材流通の見える化★1
- 広葉樹の有効活用に向けた分布域や樹種などの詳細な資源情報の把握



地上レーザ計測



タワーヤード
(架線集材)

2 林業経営基盤の強化



- 伐採から造林までを連続して行う「一貫作業システム」の推進★1
- 携帯電話圏外での林内通信環境の整備による生産性・安全性の向上★1
- 森林Jークレジットを通じた森林整備と企業等の脱炭素の好循環創出
- 県営林の計画的な主伐による県産材の安定供給
- きのかや山菜など特産林産物の栽培技術の開発やPRによる消費拡大



林内通信環境の整備

3 安定供給体制の整備と需要の拡大



- 富山県ウッド・チェンジ協議会による木材利用のプラットフォームの構築★2
- JAS製材品など品質・性能の確かな県産材製品の供給促進
- 民間事業者との建築物木材利用促進協定による県産材利用の推進★2
- 木材産業の復興と大規模災害に強い県産材サプライチェーンの構築★4
- 中山間地域の活性化につながる早期の収穫が可能な早生樹の栽培実証



民間企業との木材利用促進協定

4 新たな技術開発と普及指導の推進



- 「立山 森の輝き」を上回る成長や材質等に優れた無花粉スギの開発
- 里山広葉樹林において付加価値の高いホオノキの更新技術の開発
- 地震に強い木質架構技術やリフォーム工法、耐震シェルターの開発★4
- 低コスト作業システムなど効率的な主伐のための知識・技術の普及



新たな無花粉スギの開発

3 プロジェクト重点

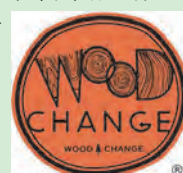
重点1 生産性向上PJ★1

- ◆ 地上レーザやドローンによる立木調査
- ◆ 主伐に対応した林道開設
- ◆ 架線系作業システムの検証
- ◆ 木材流通の見える化
- ◆ 一貫作業システムの検証



重点2 ウッド・チェンジPJ★2

- ◆ ウッド・チェンジ協議会での木材利用推進
- ◆ 民間建築主との木材利用協定
- ◆ 大径材用の製材ライン導入
- ◆ 木製遊具導入や木育イベント
- ◆ 木育と自然保育の森林教育



『
し、カーボンニュートラルや

R13 目標 指標	県産材の 生産量	160千m ³
	林業の 担い手数	430人



基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成

1 林業の担い手等の確保・育成

- インターンシップや外国人材の受入れなど林業担い手センターによる新規就業者の確保★3
- 学生対象の林業体験やSNS・動画配信による若者への就業PR★3
- 苗木生産等での福祉事業者との林福連携による新たな働き手の確保★3
- 林業カレッジによるICTや架線集材など新しい技術の習得★3
- 快適トイレなど作業環境の改善による女性も働きやすい環境づくり★3
- 液状化対策や耐震、中大規模の木造建築物を設計できる人材の育成★4



高性能林業機械シミュレータ

2 森と木の関係人口拡大

- 児童生徒をはじめ広く県民への環境教育を提供する森の寺子屋の開催
- SNSを活用した森林ボランティアのPRと若者の新規参入促進★3
- 県産材玩具の導入やイベント開催等による県産材利用の普及啓発★2
- 木に触れ森を学ぶ木育と自然保育によるこどもまんなか森林教育★2



森と木を知る自然保育

基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり

1 災害に強い森づくりの推進

- 公益的機能の発揮が求められる森林の計画的な保安林指定と適切な管理
- 流域を一体とした荒廃地の復旧、災害の予防、流木対策の重点的な実施
- 地震で発生した山地災害等の復旧と災害に強く持続可能な森づくり★4
- 治山施設が将来にわたって機能を発揮し続けるための長寿命化対策
- 松くい虫やカシノナガキクイムシなどの森林病虫獣害の予防と拡大防止



流木捕捉機能ダム

2 県民参加による多様な森づくりの推進

- クマなどの野生動物の移動経路となっている河岸段丘等での里山林整備
- 里山応援隊活動など地域ニーズに応じたきめ細かな里山管理への支援
- 侵入竹林等の整備による針葉樹と広葉樹が混在する混交林化
- 企業と里山地域による協働での森づくり活動の推進★3
- 森づくり活動のCO₂の吸収量認証による活動への参加促進★3



県民参加による里山整備

重点3 次代を担う人づくりPJ★3

- ◆ インターンシップや外国人材等の新規就業者確保
- ◆ 林福連携や女性就業促進
- ◆ 架線集材の技術者育成
- ◆ 家庭へ苗木育成キット配布
- ◆ CO₂吸収量認証制度創設



重点4 能登半島地震復旧PJ★4

- ◆ 山地災害の早期復旧と予防対策
- ◆ 林道施設点検と対策工事
- ◆ 大規模災害に強い木材のサプライチェーン構築
- ◆ 地震に強い木造建築物普及



令和7年度 森林及び林業の施策

基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化

充実した森林資源を背景に、間伐から主伐へ森林施業をシフトするとともに、その基盤となる林業の経営力を強化するため、林業生産性の向上や林業事業体の育成、県産材の安定供給体制の整備、新たな技術開発などに取り組み、持続可能な森づくりを一層加速化します。



1 素材生産力の強化

(1) 森林施業の集約化の推進

(施業の集約化の促進)

林業事業体等の持続的・効率的な経営を促進するため、整備計画区域を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進しました。

実績	人工林における集積・集約化の目標面積※に対する割合（年間）※人工林の半数	76%
----	--------------------------------------	-----

富山県森林経営管理総合支援センターは、森林経営管理制度などに基づき市町村が行う所有者確認や協定締結などの集約化施業を支援しました。

- ・森林クラウドシステムでの情報の共有や森林計画制度を周知し効率的な集約化を推進しました。

実績	・市町村職員対象研修会 2回、44人参加 ・意向調査等の実施（準備含む） 14市町 ・森林クラウドシステム操作研修 2回、62人参加 ・森林計画担当者会議の開催 33人参加
----	--

森林クラウドシステム操作研修



(2) 人工林の主伐加速化と森林整備の推進

(間伐等森林整備の継続)

間伐など保育が必要な森林については、造林事業補助金などにより森林整備を支援しました。

実績	- 間伐（造林事業関係） ・造林事業 281ha、間伐材生産推進事業 15ha、 - 県単独森林整備事業等 15ha
----	--

(計画的な主伐の加速化と適切な再造林)

スギ人工林伐採重点区域において花粉発生源となるスギ人工林を伐採し、一貫作業により伐採跡地に優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽する取組みなどを支援しました。

実績	・伐採重点区域での主伐 67ha ・「立山 森の輝き」の植栽 43ha
----	---

主伐再造林地（富山市婦中町）



(3) 無花粉スギの苗木生産体制の整備

(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」採穂林の適正な管理)

挿し木による苗木生産を進めるため、採穂林（魚津採種園、砺波採種園および森林研究所）を適正に管理するとともに散水施設を備えた育苗施設（魚津採種園）を整備し、苗木の増産を図りました。

実績	・採穂林管理 5.8ha（採穂用の台木 約1万5千本） ・優良無花粉スギ「立山 森の輝き」苗木生産本数（年間） 10万3千本（県2万5千本、民間7万8千本）
----	--

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」挿し木苗



（優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の民間生産者（技術者）の確保・育成）

コンテナ苗生産に取り組んでいる民間生産者に対して、巡回指導による生産現場に応じた技術支援や栽培指導を行うことで、生産技術の向上を図りました。

実績 ・ 種苗生産事業者への巡回指導 8 者

《令和 8 年度に新たに取組む施策》

無花粉スギの苗木生産体制を整備するとともに、スギ人工林における無花粉スギへの植替えを促進するため、伐採、植替えを働きかけた林業事業体と森林所有者に対して支援を行います。

苗木安定供給に向けた生産者指導



（４）森林経営の確立に向けた生産基盤の整備

（森林の適切な管理と林業生産性の向上を可能とする路網整備の推進）

地形・地質、森林資源の状況等を踏まえた作業システムの導入のため、幹線となる林道、林道を補完する林業専用地、林業機械が走行する森林作業道を適切に組み合わせて整備しました。

実績	・ 林道	() 内は未完成延長
	山のみち	0.0 (0.5)km
	森林基幹道	0.1 (1.3)km
	森林管理道	0.1 (0.1)km
	・ 森林作業道	109.8km

木材の搬出に利用される林道 （有縁寺線 南砺市）



（５）スマート林業による生産性の向上

（ICT等を活用したスマート林業の推進）

「富山県林業イノベーション推進協議会」において、ドローンによる森林資源調査などのスマート林業機器等の実証事業に取り組みました。

実績 ・ 実証機器：タワーヤード、ドローン、林内通信網整備など
・ 林業事業体向け研修 3 回、110 人参加

（先端技術等を活用した新たな作業システムの推進）

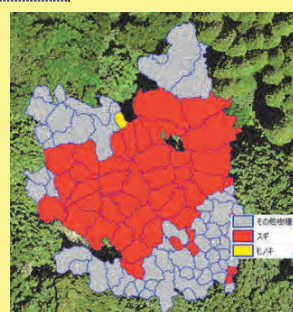
伐採、集材、植栽、育林などの各段階において効率化を図るため、先端技術を活用した作業の自動化、遠隔化などの取組みを推進しました。

実績 ・ ドローンを活用した森林資源調査 2 箇所（高岡市山川、小矢部市臼谷）

トピックス ドローンを活用した森林資源調査の実証

木材生産を行う上で、森林計測を事前に行うことは重要ですが、従来の調査では、人力による毎木調査が主流で多大な労力を要していました。近年、ドローンによって上空から調査対象森林を撮影し、その画像を基に資源量を解析する技術が開発されてきたので、富山県林業イノベーション推進協議会では、この調査技術を県内で活用できるかどうかを検証しました。

高岡市山川地内等の森林において実証を実施したところ、自動解析によって樹高、胸高直径、幹材積の推定ができましたが、胸高直径は 20%程度過少となる結果になりました。なお、現地調査結果を組み合わせることによって精度を 10%程度向上できることを確認しました。



樹冠面積の合計	現地データ	自動解析結果
スギ	705.40㎡	808.51㎡
その他樹種	663.90㎡	660.21㎡

（６）広葉樹資源の有効活用

森林クラウドやドローンを活用し、広葉樹資源情報を把握するとともに、施業の集約化を図り、効率的な路網配置と高性能林業機械の活用による伐採費用の低減を図りました。

県森林研究所と協力し、広葉樹伐採後の更新について、コストを低く抑えることができる管理・利用手法の確立に向けて調査データの蓄積を行いました。



2 林業経営基盤の強化

(1) 林業事業体の育成と経営基盤の強化

(森林組合の経営基盤強化)

事業執行体制の強化を図るための指導、検査及び研修を実施しました。

実績	常例検査	2 組合
----	------	------

(先進的な林業機械の導入)

生産性・安全性向上の基礎となる高性能林業機械の導入を支援しました。

実績	グラップルソー (リース)	1 台
----	---------------	-----

(2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理

(非皆伐長伐期施業による森林の適正な管理と安定的な県産材の供給)

混交林化を促進する更新伐 (面的複層林施業) による、「非皆伐長伐期施業」を進めるとともに、路網整備が困難な林分を想定した架線集材の実証に協力するなど、森林の有する公益的機能に配慮した県産材の供給に取り組みました。

実績	非皆伐長伐期施業	42.7ha
----	----------	--------

(木材販売収入以外の新たな収益の確保)

公社営林において、新たな収益として森林 J-クレジット制度の導入に取り組み、適正な管理に必要な財源を確保するなど、経営改善に取り組みました。

(分収比率変更による将来収支の改善)

土地所有者の理解のもと、「公社 6 : 土地所有者 4」となっている分収比率を、「8 : 2」とする契約変更に、引き続き粘り強く取り組みました。

実績	契約変更	1 件 (延べ 946 件 進捗率 95.7%)
----	------	--------------------------

(3) 県営林の適正な管理

(適正な県営林の管理)

公益的機能を十分発揮できる森林を造成するため、間伐等の施業を計画的に実施しました。

実績	・間伐	6.74ha
----	-----	--------

(計画的な県産材の供給)

地域の素材生産量などのバランスに考慮した売払いを実施するなど、継続的な県産材の供給に努めました。

実績	・主伐売払 4 件 (9.77ha 5,321m ³ (立木材積))
----	---

(4) 特用林産物の振興

(生産施設の整備や生産基材の供給への支援と技術指導)

オガ粉等の生産資材や電気料金の高騰により、厳しい経営状況となっている菌床シイタケ等の生産事業者に対して、生産資材の購入や電気料金の支援に取り組みました。

実績	・生シイタケ生産量	1,402 t (R7 年次)
----	-----------	-----------------

先進的な林業機械による造材
(高岡市石堤)



非皆伐長伐期施業により出材された原木 (富山市山田)



県営林の主伐 (南砺市香城寺)



菌床シイタケの栽培





3 安定供給体制の整備と需要の確定

(1) 品質・性能の確保と流通の円滑化

(需要に応じた供給体制の整備)

木材加工施設への製材設備等の導入を支援しました。

実績	木材加工流通施設整備	3 箇所
----	------------	------

燃料等の高騰により、厳しい経営状況となっている事業者に対して、電気料金等の支援に取り組みました。

実績	木材加工流通事業者	12 件
----	-----------	------

(川上から川下までの関係者の連携強化)

「とやま県産材需給情報センター」により、県産材の供給情報と建設予定物件の県産材使用量などの需要情報の調整や共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を推進しました。

(2) 建築分野における木材利用の促進

(住宅分野における利用促進)

県産材を使った住宅建設に対する支援等を実施しました。

実績	とやまの木で家づくり支援事業	34 棟
----	----------------	------

住宅分野での県産材の利用促進を図るため、県産材アドバイザーなどを通じ、利用方法や調達方法を工務店等へ広く紹介するとともに、県産材を使用しているとやまの木で家づくり応援工務店等に対しHPでのPRなどの支援にも取り組みました。

実績	・とやまの木で家づくり応援工務店等	16 社
	・県産材アドバイザー	42 名

(非住宅分野における利用促進)

県民が広く利用する施設への県産材を活用した木造化や内外装木質化、遊具や備品導入に対する支援等を実施しました。

実績	・内装の木質化	3 施設
	・外装の木質化	1 施設
	・県産材備品導入	2 施設
	(施設数は重複あり)	

民間建築物における木材利用を促進するため、県と建築主等において「建築物木材利用促進協定」を締結するなど、協働・連携して木材の利用に取り組みました。

実績	木材利用促進協定の締結	2 件
----	-------------	-----

富山県ウッド・チェンジ協議会においては、民間事業者が抱えている木造は地震に弱いといった不安材料やネガティブなイメージを和らげるための資料の内容と普及方法について協議しました。

実績	・富山県ウッド・チェンジ協議会会員数	29 社
	・富山県ウッド・チェンジ協議会	1 回
	・とやまウッド・チェンジセミナー	1 回

木材加工施設に導入した製材機
(高岡市)



支援事業を活用した県産材住宅



非住宅分野における内装の木質化



とやまウッド・チェンジセミナー



(3) 木質バイオマス等の利用促進

(木質バイオマスの利用促進)

未利用間伐材など低質材の搬出について支援しました。

(早生樹をバイオマス燃料として活用するモデル事業の実施)

荒廃した里山地域や耕作放棄地において、成長に優れ2～3年で収穫できる早生樹のヤナギ類の栽培実証を行いました。

実績 ・早生樹（ヤナギ）収穫・実演研修会 1回

コウヨウザンやユリノキなどの早生樹についても、県内への導入に向け栽培実証を行いました。

サトウキビ用ハーベスタを用いたヤナギの収穫



トピックス 公社営林のJ-クレジット認証

J-クレジットは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの導入、森林管理などによる温室効果ガスの排出削減・吸収量を国が「クレジット」として認証する制度です。農林水産公社では、経営改善の一環として、新たな財源を確保するため導入を進めていましたが、この度、認証委員会での審査を経て、県内では初めてとなる森林由来のクレジットが発行されました。

今後は、発行されたクレジット約2万t-CO₂の販売と新たなクレジットの認定・発行の準備を行い、経営改善と適正な森林管理を進めてまいります。



トピックス 木質耐震シェルターの開発

能登半島地震を踏まえて、旧耐震基準住宅の倒壊から人命を守るために、県産スギを平角柱に使った耐震シェルターの開発に取り組んでいます。令和7年7月の公開実験では、3トンのおもりを高さ3mから落下させて、天井構造の耐衝撃性試験を行いました。天井材の変形はわずかで、室内空間の安全性を十分確保できることを確認しました。

次に、築約50年の住宅において、耐震シェルターの試験設置を行いました。まず、長年の使用で劣化した床を解体し、新たに土台間隔を狭くして強固にした床を造り直し、その上に耐震シェルターを組み立てました。仕上げの床張りはフローリングによりバリアフリーとしました。試験設置後、見学会を開催したところ県内外から138名の来場者があり、多くの方から「木の香りや温もりが感じられて良い」といった好意的なご意見をいただきました。令和7年12月には特許を出願しており、引き続き実用化に向けて取り組んでいます。

公開実験の様子



試験設置後の見学会の様子



4 新たな技術開発と普及指導の推進

（１）森林資源の循環利用と林業の成長産業化を実現するための技術開発

（森林資源の循環利用と林業の成長産業化を実現するための技術開発）

- ・ 早生樹であるコウヨウザンやユリノキの本県における生育適性を評価するとともに造林適地の明確化に取り組みました。
- ・ 地上型レーザスキャナーによる効率的な森林資源量把握及び形質評価技術を開発しました。
- ・ 無花粉スギの品種改良を進めるため、「立山 森の輝き」の集団の中から優良個体の選抜を行いました。
- ・ 里山広葉樹林において付加価値の高いホオノキの更新技術の開発に取り組みました。

実績	・ 日本森林学会大会 発表・報告 2 件
----	----------------------

《令和 8 年度に新たにに取り組む施策》

卓越した初期成長を示すエリート無花粉スギの開発

（水とみどりを育み県民生活の安全・安心に貢献する森づくりを推進するための技術開発）

- ・ 病虫獣害等から森林を守るための防除技術に取り組みました。
- ・ ヤナギ類を利用した治山施工地の緑化技術に取り組みました。
- ・ ツキノワグマ出没予測のためのブナ科(ブナ・ミズナラ・コナラ)堅果の豊凶モニタリング調査を行いました。
- ・ スギ花粉症対策の一環としてスギ花粉の飛散予測を行い、広く県民に情報提供を行いました。

実績	・ 日本森林学会大会 発表・報告 1 件
	・ 日本生態学会 発表・報告 1 件

（林産物等の活用による中山間地域振興に資する技術開発）

- ・ 舌下免疫療法用のスギ花粉の効率的な採取技術の開発に取り組みました。
- ・ 多収性かつ高品質なハナビラタケ品種の開発に取り組みました。
- ・ ヤナギ類を活用したバイオマス発電所向け、燃材の生産技術の開発に取り組みました。

実績	・ 日本森林学会大会 発表・報告 1 件
----	----------------------

（森林・林業に関する研究成果等の情報提供）

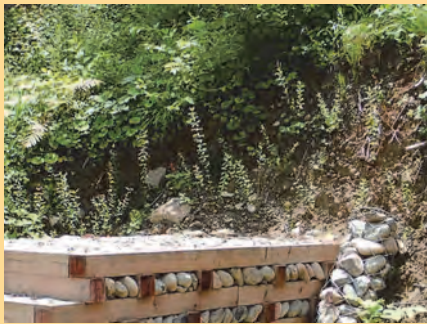
- ・ 林業関係者や一般県民に対して、わかりやすい研究情報を発信しました。
- ・ 林業技術講習会や研究成果発表会を行うとともに、パンフレットや成果集を発刊/公開して広く技術の普及を図りました。

実績	・ 森林研究所研究成果発表会	80 人参加
	・ とやま森林研究所だより	発行・Web サイト公開
	・ 研究レポート No. 26	発行・Web サイト公開
	・ 研究報告 No. 17	発行・Web サイト公開
	・ 業務報告	発行・Web サイト公開

エリート無花粉スギの開発に向けた試験林



ヤナギ類を利用した治山施工地の緑化技術



試験研究成果発表会



（２）県産材等の需要拡大を図る技術開発

（県産スギ大径無垢材の高品質化及び架構技術の開発）

- ・非住宅分野の木造建築（特に中大規模・中高層）へ利用可能とする高品質な仕上りの乾燥技術の開発に取り組みました。
- ・地震と積雪荷重に耐える安全安心な木質架構技術の開発に取り組み、中大規模・中高層木造建築への利用拡大につながるよう取り組みました。
- ・県産材を用いた耐震シェルターの開発や、大地震での住宅等の損傷を抑制する制振工法の開発に取り組みました。

実績	・研究課題	6 課題
----	-------	------

（県産材を用いた新たな木製品の開発）

- ・土木分野での県産材の需要拡大に資する新たな木製品の開発に取り組みました。
- ・ウッド・チェンジを推進する技術や製品開発に取り組みました。

実績	・研究課題	8 課題
----	-------	------

（県産材の利用技術の実務者への普及）

- ・実務者向け木材利用講習会において、能登半島地震を教訓として耐震性向上技術にかかる情報を提供しました。
- ・強度試験の公開実験を実務者向けに行い、技術展開を進めました。

実績	・林産技術講習 R7. 8. 21 開催	101 人参加
	・木材研究所研究成果発表会	R7. 11. 28 開催
	・依頼試験	18 社 (89 件)

（３）持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

（面的なまとまりのある持続可能な森林経営の推進）

森林総合監理士等が森林組合等の林業事業体に対し、森林経営計画作成や路網整備等による集約化施策を指導しました。

（森林・林業に関する技術・知識の普及・指導）

主伐の拡大に伴い、人工林の更新や針広混交林化などの森林の管理技術や効率的な主伐を実施するための知識・技術を普及しました。

（低コストで安定的な県産材の供給体制づくりの推進）

ICTを活用した森林資源管理によるスマート林業の推進を図るとともに、川上から川下までの林業・木材産業等の関係者間の連携や情報共有に向けた取組みを行いました。

実績	・森林総合監理士（フォレスター）登録（累計）33 名
	・林業普及指導職員活動成果発表会 R8. 2. 12 開催
	107 人参加

木質架構構造のせん断試験



木製治山ダム（魚津市東城）



林産技術講習会



林業普及指導職員活動成果発表会

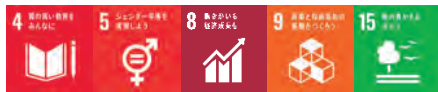


ICT を活用した森林資源管理研修会



基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成

とやまの豊かな森を守り育て次世代に引き継ぐため、来る主伐時代にも対応した林業の担い手を確保・育成するとともに、森林ボランティア活動や木育など森林や木材に関わる関係人口の拡大に取り組みます。



1 林業の担い手等の確保・育成

(1) 林業担い手センター等による担い手の確保・定着

(インターネットを活用した相談体制の整備や、福祉連携等により労働力を確保)

林業就業に関する一元的な情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」の運営、ハローワークと共同で就業相談会の開催や、首都圏等大都市で開催される林業就業者相談会に参加するなど、新たな担い手の確保に取り組みました。

実績	・アクセスユーザー数 7,045 ユーザー ・就業相談会(県内) 11回 30人参加 ・就業相談会(県外) 1回 3人参加 ・その他就業相談者(就業ナビ等) 12人 ・新規就業者 22名
----	---

高校生や大学生、就業希望者を対象に、林業体験を実施しました。

実績	・林業体験6回(高等学校1回、大学2回)、 延べ83人参加 ・林業就業支援講習 1回 8人参加
----	---

高校生等の林業体験



安全巡回指導



(担い手の就労環境の改善と定着率を向上)

林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、林業現場での安全巡回指導の実施や個人事業主への労働安全衛生改善セミナーを実施しました。

実績	・安全巡回指導 10回 ・労働災害救助訓練 1回 55人参加
----	-----------------------------------

(2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

(経営・計画に関わる技術者の育成)

将来の森林管理ビジョンを描き実現できる人材や、効率的な集約化施業を実現できる人材を育成しました。

実績	・森づくりプロデューサー養成研修 29日間延べ14人 ・森林施業プランナー育成研修 5日間 3人参加
----	---

(効率的な素材生産を担う技術者の育成)

高い生産性と安全性を確保しつつ、素材生産や森林作業道整備などを行うことのできる現場技術者を育成しました。

実績	・フォレストワーカー(林業作業士)研修 1年次～3年次 71日間 32人参加 ・フォレストリーダー(現場管理責任者)研修 15日間 11人参加
----	--

(主伐後の着実な再生林を担う技術者の育成)

苗木や資機材等の運搬用大型ドローンを取り扱うことができる人材の育成に取り組みました。

実績	・大型ドローン操作技能習得研修 3日間 4人参加
----	--------------------------

大型ドローン操作技能習得研修



《令和8年度に新たに取り組む施策》

林業技能検定の受検等に係る費用の支援や検定に向けた対策研修を開催するなど、技能や地位の向上並びに林業作業の質の確保につながる林業技能士の育成に支援し、林業の担い手の確保とさらなる定着を図ります。

トピックス 「富山伐木チャンピオンシップ 2025」を開催しました

富山県林業カレッジは、林業分野としては全国初となる職業能力開発校として平成7年4月に開校しました。開校からの30年間で延べ1,730人が研修を受け、修得した技術を活かして森林・林業の現場で活躍しています。

令和7年11月8日(土)、カレッジ開校30周年であることを記念し、富山県富岩運河環水公園 野外劇場にて「富山伐木チャンピオンシップ 2025」を開催、県内の林業事業者から24名が選手として出場しました。

今大会では、伐倒競技(簡易伐倒)と枝払い競技の2種目の競技において、安全性、正確さ、スピードの評価基準で競われました。選手の高度な技術とスピードが試される熱戦が繰り広げられ、さらに、迫力のあるチェーンソーさばきを目前で見られる機会とあって大いに盛り上がりました。

今大会を通じて林業の担い手の技術と安全意識の向上が図られ、林業の魅力が広く発信される貴重な機会となりました。



(3) 木造建築設計者等の確保・育成

(非住宅・中高層建築物の木造化や木質化の設計ができる人材の育成)

建築技術者等に対し、県産材の活用について理解を深めてもらうことを目的に、講習会等を開催しました。

実績	・木造公共建築講座	1回	53人参加
	・高校生の建築現場見学会	2回	80人参加

(建築主及び設計、施工者の県産材に対する意識の高揚を図る機会の創出)

富山県内の木材利用施設から、各種賞を受賞された施設や近年竣工したものを中心に紹介する事例集を作成し、木材利用施設の普及促進に取り組みました。

木造公共建築講座



高校生の建築現場見学会



2 森と木の関係人口拡大

(1) 森づくりを支える県民意識の醸成

(森づくりを支える県民意識の醸成)

「とやま森と木のフェスタ 2025」を開催し、森林の持つ多様な役割や健全な森づくりのための県産材利用の重要性等について広く紹介し、県民の皆さんに理解を深めていただきました。

実績	・ R7. 10. 11 開催 県民公園太閤山ランド 約 3 千人参加
----	-------------------------------------

トピックス
とやま森と木のフェスタ 2025

令和 7 年 10 月 11 日 (土)、県民公園太閤山ランドで開催された『とやま森と木のフェスタ 2025』には、親子連れや友人同士など 3,220 人もの来場者が集まり、笑顔が絶えない賑やかな雰囲気になりました。ツリークライミングやシイタケ植菌体験、竹ブランコの設置など子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる内容で、森と木の魅力を存分に感じられる一日となりました。



(森林環境教育の推進)

森づくりへの理解を深めてもらうため、児童、生徒や一般県民を対象に富山県フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。また、森の寺子屋の指導者となる富山県フォレストリーダーのスキルアップ研修を実施しました。

実績	・「森の寺子屋」の開催 144 回 6,428 人参加
	・スキルアップ研修 2 回 57 人参加

有峰の自然に対する愛着心を育む活動や高校生、一般県民の森林体験等を実施する「有峰森林文化村」の活動を推進しました。

実績	・文化村活動 93 回 830 人参加
	・森林文化公園施設利用者 21,921 人

(県民全体で支えるとやまの森づくりの推進)

「富山県水と緑の森づくり会議(R7. 4. 22)」を開催し、森づくりについて幅広く意見を伺うとともに、「富山県森林審議会森づくり部会(R7. 10. 14)」を開催し、事業の評価を行いました。

(2) 木育等の推進による県産材利用への理解増進

(県民への県産材利用の普及啓発)

10 月の「とやまの木づかい推進月間」を中心に、関係者が連携・協力し、県産材の利用促進に向けたイベントなどの広報活動を実施しました。

実績	・「2025 年とやまチビッ子とんかち 大将コンクール」 応募総数 72 点
	・とやま森と木のフェスタ 2025 (木育コーナー) 木育遊具広場、丸太切体験等の開催

(幼児期からの木育等の推進)

保育園など多くの子供が集まる施設への県産材遊具の導入を支援しました。

また、令和 7 年度より新たに子供達への保育現場において木育を実施できる保育士を育成するため、保育士を目指す学生に対する木育指導実習を西田地方保育園で開催しました。

実績	・ 県産材こどもの城づくり事業
	屋外遊具の製作・設置 3 施設
	・ 県産材遊具の貸出 37 回
	・ 木育指導実習 1 施設

森の寺子屋



とやま森と木のフェスタ 2025 (木育コーナー)



屋外遊具の設置 (富山市上滝)



《令和8年度に新たにに取り組む施策》

日頃から幼児等に木育や自然保育を実践できる指導者を育成するため、現役の保育士などを対象とした研修を開催します。

基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり

県民の生活と産業を支え、災害から私たちの暮らしを守る、森林の有する公益的機能の維持・強化を図るため、里山林整備など県民参加による多様な森づくりや災害に強い森づくりを進めます。



1 災害に強い森づくりの推進

(1) 保安林の適正な管理と林地の保全

(公益的機能の発揮が必要な森林の計画的な保安林指定と適切な管理)

公益的機能の発揮が必要な森林を保安林に指定するとともに、保安林標識の設置や保安林調査員によるパトロールを定期的に行いました。

実績	・保安林種ごとの指定面積の概要	
	土砂流出防備保安林	26.1ha
	土砂崩壊防備保安林	1.3ha
	計	27.4ha
	・保安林標識の設置	26基
	・保安林調査員によるパトロール	8名 58回

保安林標識の設置 滑川市荒俣地内



(山林の開発等に対する適正な審査及びパトロール等による林地の保全)

無許可開発や、違反行為、申請と異なる内容での開発に対しては、適切な指導を行い、必要があれば、中止命令や復旧命令の監督処分を実施し、林地の保全に努めました。

実績	・森林審議会保全部会の開催	1回
----	---------------	----

(2) 県民の生命・財産を守る治山事業等の推進

(災害に強い森林づくり・水源の森づくりの推進)

災害等により機能が低下している森林について、森林の整備を治山施設の設置と併せて実施するとともに、山地災害危険地区の整備や、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、水源涵養機能の高い森林に向け整備しました。

実績	・復旧治山事業	4市町 12箇所
	・予防治山事業	5市町 7箇所
	・緊急予防治山事業	2市町 2箇所
	・山地災害重点地域総合対策事業	4市 12箇所

なだれ防止機能を有する森林の維持・造成を行いました。

実績	・なだれ防止林造成事業	1市 2箇所
----	-------------	--------

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の機能維持のため、下刈・間伐等の保育作業や植栽を実施しました

実績	・治山保育事業	3市2町 16箇所
----	---------	-----------

(治山施設の老朽化対策)

「富山県治山施設長寿命化計画（令和元年度策定）」に基づき、老朽化した治山施設の修繕を計画的に実施しました。

実績	・治山施設の修繕	7市町 22箇所
----	----------	----------

復旧治山事業 富山市東猪谷地内



なだれ防止林造成事業 南砺市利賀村水無谷地内



(山地災害危険地区の整備の推進と情報の積極的な発信)

人家集落等に近接する山地災害危険箇所における災害防止のため、航空レーザ計測を活用して崩壊地や流木、危険木等を把握し、治山整備計画を策定するなど、流域を一体とした荒廃地の復旧予防、流木対策を重点的に実施しました。

(3) 森林病虫獣害対策の推進

(松くい虫など森林病虫獣害に対する適切な被害把握と防除の実施)

海岸林などを松くい虫被害から守るため、薬剤散布や樹幹注入による予防対策と、被害木の伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

実績	・薬剤散布	6市町	87ha
	・伐倒駆除	8市町	154 m ³
	・樹幹注入(立木本数)	6市町	713本

(森林病虫獣害の被害跡地の健全な森林への誘導)

公益上又は景観上放置しがたい被害跡地については、植栽などにより早急に森林の復旧を行うとともに、里山林や主要道路沿線等において、倒伏による事故の防止や景観の保全を図るため、枯損木の除去を行いました。

実績	8市町	687 m ³
----	-----	--------------------

治山施設機能強化・老朽化対策事業
南砺市利賀村大豆谷地区地内



ドローンによる薬剤散布



トピックス 能登半島地震復旧プロジェクトの進捗報告

【山地災害・林道・林業用施設等復旧と経営支援(概ね3年間で達成すべき目標)】

- ・被災した山地、林道、林業施設等について、令和8年度中に概ね復旧を完了する。
- ・県土の強靱化、林業の生産性向上に取り組み、災害に強く持続可能な森づくりを推進する。

『ロードマップ』

目標に向けた取組内容	R5年度(R6.1~)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度以降
① 山地災害の被災状況の把握・復旧	被災状況の把握、調査 (~R6.10月)	山地災害復旧事業の実施			R9年度以降も必要に応じて実施
② 林道・林業施設等の被災状況の把握・復旧支援	被災状況の把握、調査 (~R6.10月)	災害査定	林道復旧事業の実施	災害査定予定	R9年度以降も必要に応じて実施
③ 国・県の支援メニューの活用支援(林業用施設等)	林業施設、木材加工流通施設等の復旧支援		復旧完了		

【進捗状況(R8.3 末現在)】

- ① 山地災害については、5箇所のうち4箇所は復旧完了。
残り、1箇所(地すべり災害)はR8以降も対策工を実施。
- ② 林道は、6路線8箇所が災害復旧事業を活用し、5路線7箇所が完了。
残り、1路線1箇所は地すべり災害が終息後、災害査定を実施し復旧予定。
- ③ 林業用施設等は、林業・木材産業循環成長産業対策交付金等の活用により、6施設の復旧がR6.12月までに完了。



林道法華三尾線(氷見市) 復旧完了



2 県民参加による多様な森づくりの推進

(1) 里山林の整備

(県民協働による里山林の整備)

地域資源としての木材等の利用、森林浴や環境教育の場の提供、生物多様性の保全、野生動物との棲み分け等を目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みました。

実績	・里山林整備 9 市町 27 地区 345ha 地域住民等の参加人数 577 人
	・4 年目以降の地区への支援 14 市町 156 地区 地域住民等の参加人数 3,850 人

※クマ対策緊急3箇年森林整備事業含む

《令和8年度に新たに取り組む施策》

効率的な竹林整備の在り方を検討するため、竹林整備実証モデル事業に着手します。

(地域住民による継続的な里山林の維持管理活動)

里山リーダーセミナー等により里山の活用を促進するとともに、活動の程度に応じた支援を継続し、里山地区の活性化と自立を支援しました。

実績	・里山リーダーセミナーの開催 15 回 108 人参加
----	-----------------------------

過疎化、高齢化等により地域住民だけでは困難となった里山林の維持管理を支援する「里山応援隊活動」など、地域のニーズに応じたきめ細かな支援を継続しました。

実績	・里山応援隊活動 1 地区 17 人参加
----	----------------------

(2) 混交林の整備

(過密人工林や侵入竹林の整備)

手入れ不足で過密となった人工林や竹が侵入した人工林などを対象に、スギと広葉樹が混ざり合った混交林への整備を進めました。

実績	・過密人工林整理 3 市町 3 地区 8.3ha
	・侵入竹林整理 5 市町 6 地区 7.4ha

(3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

(県民参加の森づくり活動の支援)

県民が自ら企画、実践する森づくり活動を募集し、その活動を支援しました。

実績	・13 件 参加延べ人数 2,699 人
----	----------------------

(とやまの森づくりサポートセンターによる森づくり活動の支援)

サポートセンターに登録した森林ボランティア団体や企業に対し、活動に必要な機器の貸出や保険料の支援を行うとともに、安全な活動を行うために必要な森林・林業の知識、技術に関する研修「森づくり塾」を開催しました。

里山林の整備



里山リーダーセミナー



混交林の整備



県民参加の森づくり活動



実績	・サポートセンター登録者数（R8.3 末現在） 142 団体（5,692 人）, 62 企業 ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 13,048 人 ・保険料支援 28 団体 ・機器の貸出 591 回 6,502 個 ・森づくり塾の開催 30 回 251 人参加
----	--

森づくり活動を体験する機会や登録団体等の交流を図るボランティア交流会等を開催しました。

実績	・とやまの森づくりボランティア交流会 R7.10.11 開催 県民公園太閤山ランド 73 人参加 ・飛越源流の森づくり R7.7.12 開催 富山市岩瀬浜緑地公園 113 人参加 ・とやまの森づくりサポートセンター設立 20 周年記念講演会 R7.11.1 開催 岐阜県高山市清見町夏厩 地内 79 人参加 ・とやまの森づくりサポートセンター設立 20 周年記念講演会 R8.3.3 開催 富山県市町村会館 103 人参加
----	--

森林ボランティア活動



森づくり塾



ボランティア交流会



（県民意見を反映したとやまの森づくりサポートセンター運営）

広く県民から助言を得るため、学識経験者や経済団体等から組織された運営委員会を開催するとともに、サポートセンターを活用しているボランティア等から意見を聴くため、懇話会を開催しました。

実績	・とやまの森づくりサポートセンター運営委員会 R7.8.25 開催 富山県民会館 21 人参加 ・とやまの森づくりサポートセンター懇話会 R8.3.3 開催 富山県市町村会館 41 人参加
----	---

サポートセンター懇話会



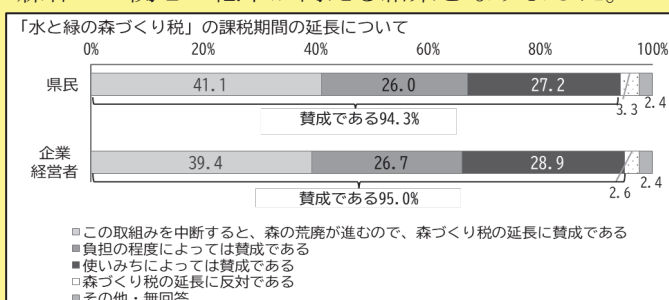
トピックス 水と緑に関する県民意識調査の実施

「水と緑の森づくり事業」の財源である「水と緑の森づくり税」は、課税期間が令和 8 年度末までとなっています。このため、課税期間の延長も含め、今後の森づくりのあり方を検討するため、県民意識調査を実施しました。

調査の結果、課税期間延長について「賛成」との回答が、県民で 94.3%、企業で 95.0%となりました。また、クマの出没や人身被害への対応、人口減少・少子高齢化への対応など、新たな使途についても、県民・企業ともに 9 割を超える方が「賛成」と回答しており、今後の森づくりへの期待の高さが伺えました。

一方で、森林ボランティア活動に「参加したい」と回答した割合は、前回調査と比べて県民で 5.8 ポイント、企業で 13.1 ポイント低下しており、森林への関心の低下が伺える結果となりました。

今年度策定予定の「森づくりプラン」では、「水と緑の森づくり税」の課税期間の延長と併せて、県民意識調査の結果を踏まえ、県民の皆さんの期待に応える森づくりや、森林への関心を高める取組みについて検討を進めていきます。



富山県森林・林業振興計画の目標指標と令和7年度実績

基本 施策	指標名	基準年 (R 5)	実 績 (R 7)	中間目標 (R 8)	目 標 (R 13)
Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化	県産材素材生産量（年間）	10 万 5 千 m ³	11 万 4 千 m ³	14 万 5 千 m ³	16 万 m ³
	人工林における集積・集約化の目標面積※に対する割合（年間） ※人工林の半数	73%	76%	76%	81%
	主伐面積[人工林]（年間）	85ha	94ha	100ha	130ha
	間伐実施面積（累計）	41, 699ha	42, 800ha	45, 200ha	49, 800ha
	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」苗木生産本数（年間）	8 万 5 千本	10 万 3 千本	20 万本	20 万本以上※ ※需要状況により増産
	路網整備延長（累計）	4, 424km	4, 646km	4, 880km	5, 310km
	主伐の生産性（年間）	6. 3m ³ /人日 (R4)	6. 5m ³ /人日	6. 6m ³ /人日	8. 5m ³ /人日
	非皆伐長伐期施業による搬出材積 [公社]（年間）	1, 390m ³	4, 829m ³	7, 000m ³	21, 000m ³
	公共建築物等における県産材利用施設数（累計）	426 棟	449 棟	544 棟	694 棟
	富山県ウッド・チェンジ協議会会員数（累計）	18 社	29 社	60 社	100 社
材つⅡ のな未 育ぐ来 成人に	林業就業者数（年間）	430 人	434 人	430 人	430 人
Ⅲ 県土の強 民参加の 森づくり	山地災害危険地区着手数（累計）	1, 466 箇所	1, 477 箇所	1, 472 箇所	1, 497 箇所
	治山・林道施設のうち長寿命化対策が必要な施設の割合（年間）	20. 4%	19. 8%	20%未満	20%未満
	里山林の整備面積（累計）	4, 061ha	4, 307ha	4, 800ha	—
	混交林の整備面積（累計）	1, 655ha	1, 692ha	1, 800ha	—
	県民参加による森づくりの参加延べ人数（年間）	10, 461 人	13, 048 人	13, 000 人	—

令和7年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
令和7年	
4月22日	富山県水と緑の森づくり会議
4月24日	富山県林業イノベーション推進協議会（第1回）
5月15日	富山県森林審議会森林保全部会
7月 4日	富山県林政協議会総会
7月12日	飛越源流の森づくり 2025 海岸林編[岩瀬浜緑地公園]
8月29日	富山県山林協会総会
10月 2日	とやまウッド・チェンジセミナー
10月 2日	農林水産技術会議
10月11日	森と木のフェスタ 2025[太閤山ランド]
10月14日	富山県森林審議会森づくり部会
10月28日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
11月 1日	飛越源流の森づくり 2025[岐阜県高山市]
11月 8日	富山伐木チャンピオンシップ 2025[富山県富岩運河環水公園]
11月10日	富山県ウッド・チェンジ協議会
11月13日	第53回花と緑の大会
11月28日	木材研究所研究成果発表会
令和8年	
1月26日	森林研究所試験研究成果発表会
2月12日	林業普及指導活動成果発表会
2月18日	とやまの森づくりCO ₂ 吸収・固定量認証書交付式
2月28日,3月1日	花とみどり・ふれあいフェア [フューチャーシティファボーレ]
3月 3日	とやまの森づくりサポートセンター設立 20周年記念講演会
3月19日	富山県林業イノベーション推進協議会（第2回）
3月23日	とやま緑化推進機構総会

